

掛川市子ども・子育て支援に関するニーズ調査結果 概略

※この結果は速報値に基づいてお知らせするものであり、今後若干の数値の変動があることをご理解ください。特に小学生分は100票ほど未入力となっています。

I 調査の概要

1 調査の目的

子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援制度（以下「子ども・子育て支援新制度」という）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」を作成することとなりました（平成27年度から実施予定）。

そこで、この新たな計画を作成するにあたり、市民の皆様の子育ての環境、教育・保育・子育て支援の現在の利用状況および今後の利用希望などを把握するために本調査を実施しました。

2 調査の設計

調査対象 就学前 掛川市に在住の就学前児童のいる家庭
 小学生 掛川市に在住の小学校1～3年生のいる家庭

調査方法 就学前 園配布・園回収及び郵送配布・郵送回収
 小学生 学校配布・学校回収

標本数 就学前 1,500名
 小学生 1,500名

調査期間 平成25年12月13日（金）～平成26年1月10日（金）

調査機関 (株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

3 回収結果

回収結果は以下のとおり。

	配布・発送数	回収数	回収率	有効数	有効回収率
就学前	1,500	1,081	72.1%	1,081	72.1%
小学生	1,500	1,136	75.7%	1,136	75.7%

4 調査の内容

(1) 就学前

- ①地域について
- ②宛名のお子さんご家族について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について
- ⑥地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について
- ⑧お子さんの病気の際の対応について
- ⑨お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について
- ⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について
- ⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑫子育てに関する意識などについて
- ⑬掛川市の現状について

(2) 小学生

- ①地域について
- ②宛名のお子さんご家族について
- ③子どもの育ちをめぐる環境について
- ④保護者の就労状況について
- ⑤地域の子育て支援事業の利用状況について
- ⑥放課後の過ごし方について
- ⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について
- ⑧子育てに関する意識などについて

5 集計結果を見る際の注意事項

- ・比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入しています。このため、百分比の合計が100%にならないことがあります。
- ・基数となるべき調査数は、Nと表示しており、回答比率はこれを100%として算出しています。
- ・複数個の回答が許されている設問においては、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

II 調査結果の概要

1 就学前調査

①地域について

- ・(問1) 居住地区

居住地区は、「第一小学区・中央小学区」が最も多く18.9%、以下「桜が丘中学区・原野谷中学区」が17.5%、「北中学区」が15.9%、「城東中学区・大浜中学区」が13.8%などとなっている。

②宛名のお子さんご家族について

- ・(問7) 主な子育て(教育)者

主な子育て者は、「父母ともに」が53.1%、「主に母親」が44.4%で、“母親”が主な子育て者との回答が97.5%に達している。「主に父親」は0.3%で、“父親”が主な子育て者との回答は53.4%にとどまっている。

③子どもの育ちをめぐる環境について

- ・(問10) 子育てを頼める親族や知人

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が61.0%と6割を超えた。「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」も36.0%となった。一方、子育てを頼める親族や知人が「いずれもない」が8.8%となっており、約1割は子育てに孤立した状況にある。

- ・(問11) 子育てを気軽に相談できる相談先

相談できる人が「いる(ある)」が88.1%、「いない(ない)」が4.1%で、ほとんどの人が相談先を確保しているが、相談先のない人もいる。

- ・(問11-1) 相談先

具体的な相談先をみると、「祖父母等の親族」が83.1%と最も多く、「友人や知人」も82.4%で、8割を超える。以下、「幼稚園教諭」が27.6%、「保育士」が20.9%などと続き、「民生委員・児童委員」は0件であった。

④保護者の就労状況について

- ・(問12) 母親の就労状況

母親は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が39.7%で最も多くなっている。“フルタイム”が33.9%、“パート・アルバイト”が22.6%で、“働いている母親”は56.5%であった。

- ・(問12) 父親の就労状況

父親は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が90.6%と9割を超えた。「以前は就労していたが、現在は就労していない」が5件、“パート・アルバイト”が1件であった。

- ・(問12) 就労時間

母親の平均就労日数は4.69日/週、平均労働時間は6.91時間/日、父親の平均就労日数は5.30日/週、平均労働時間は9.76時間/日となっている。

- ・(問13) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで働く母親のフルタイムへの転換希望は32.7%で、ほぼ3人に1人がフルタイムで働きたいと意思表示している。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は9.4%で、実質的な転換希望は約1割となっている。

・(問14) 未就労者の就労希望

働いていない母親の就労希望は、60.4%となっている。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は18.2%で、緊急性の高い就労ニーズは働いていない母親の約2割となっている。

⑤平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

・(問15) 平日の定期的な教育・保育事業の利用有無

何らかの平日の定期的な教育・保育事業を「利用している」が74.4%、「利用していない」が25.2%となっている。

・(問15-1) 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業の利用内訳は、「幼稚園(幼保園幼稚園部を含む。通常の就園時間の利用)」が58.3%、「認可保育所(幼保園保育園部を含む。国の基準に適合し、県の認可を受けた定員20人以上の施設)」が38.0%、「幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)」が6.1%などとなっている。

・(問15-6) 平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由

平日の定期的な教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が52.2%、「子どもの保護者がみるので、利用する必要がない」が50.4%で、必要ないとの回答が多い。一方、「利用したいが、申込みの要件を満たしていないため利用できない」が14.3%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が12.5%、「利用したいが、経済的な理由で利用できない」が5.5%など、希望があってもかなえられないでいる人も多い。

・(問16) 平日の定期的な教育・保育事業の利用希望

平日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「幼稚園(幼保園幼稚園部を含む)(通常の就園時間の利用)」が最も多く62.3%、「認可保育所(幼保園保育園部を含む)(国の基準に適合し、県の認可を受けた定員20人以上の施設)」が45.9%、「幼稚園の預かり保育」が29.8%、「認定こども園(幼稚園と保育施設の機能をあわせ持つ施設)」が16.6%などとなっている。

⑥地域の子育て支援事業の利用状況について

・(問17) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

地域子育て支援拠点事業の利用状況は、「利用していない」が最も多く70.1%、「児童館・児童交流館」が16.2%、「子育て支援センター」が11.6%、「つどいの広場」が1.2%の利用率となっている。

・(問18) 地域子育て支援拠点事業の利用希望

地域子育て支援拠点事業の新規利用希望は、児童館・児童交流館を「利用していないが、今後利用したい」が24.7%、つどいの広場が14.5%、子育て支援センターが

13.2%となっている。

・(問 19) 各事業の認知度

各事業の認知度は、①パパ・ママセミナーが 90.0%、すくすく健康相談、子育て相談・療育相談が 83.2%、家庭教育学級が 63.8%、家庭児童相談が 45.6%、掛川市教育センターが 20.9%となっている。

⑦土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

・(問 20) 土曜・日曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

土曜・日曜・休日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”が土曜日で 28.1%、日曜・祝日で 16.6%となっている。

・(問 21) 長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望

長期休暇期間中の定期的な教育・保育事業の利用希望は、“利用したい”が 26.2%となっている。

⑧お子さんの病気の際の対応について

・(問 22) 病気等で通常の事業が利用できなかったことの有無

病気等で通常の事業が利用できなかったことは、「あった」が 71.4%、「なかった」が 24.4%となっている。

・(問 22①) 普段の教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法

普段の教育・保育の事業が利用できなかった場合の対処方法は、「母親が休んだ」が 62.7%、「(同居者を含む)親族や知人に子どもをみてもらった」が 37.9%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が 31.8%、「父親が休んだ」が 21.3%などとなっている。

⑨お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

・(問 23) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業の状況

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業の状況は、「利用していない」が 76.8%、何らかの事業を利用している人が 16.7%で、「幼稚園の預かり保育」が 12.5%、「一時預かり」が 4.0%、「ファミリー・サポート・センター」が 0.9%などとなっている。

⑩小学校就学後の放課後の過ごし方について

・(問 26・27) 希望する放課後の過ごし方(放課後児童クラブに着目)

希望する放課後の過ごし方のうち、放課後児童クラブ(学童保育)については、低学年(1~3年)での希望が 37.8%、高学年(4~6年)での希望が 25.3%となっている。高学年までの利用希望者は、6年生までの利用を 80.0%の人が希望している。

・(問 29・30) 平日以外の放課後児童クラブの利用希望

平日の放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は 26.4%、日曜日の利用希望は 13.2%、長期休暇時の利用希望は 52.4%で、長期休暇時の利用希望が高くなっている。

⑪育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

・(問 31) 母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が 35.7%、「取得していない」が 16.7%となっている。なお、「働いていなかった」が 46.2%となっている。

- ・（問 31）母親が育児休業を取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 56.7%、「職場に育児休業の制度がなかった」が 16.7%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 15.6%などとなっている。

- ・（問 31）父親の育児休業の取得状況

父親の育児休業の取得状況は、「取得した（取得中である）」が 1.3%となっている。

⑫子育てに関する意識などについて

- ・（問 32）悩んでいることや不安に思っていること

母親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもの教育や発育・発達に関すること」が 44.7%、「子どもの食事や栄養に関すること」が 42.3%、「子どもの教育に関すること」が 33.2%などの順になっている。

父親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が 34.7%、「子どもの教育や発育・発達に関すること」が 25.5%、「特になし」が 20.6%などとなっている。

⑬掛川市の現状について

- ・（問 36）認可保育所へ入所できない状況に対して掛川市がとるべき施策

認可保育所へ入所できない状況に対して掛川市がとるべき施策は、「認可保育所の増設」が最も多く 72.8%、以下「幼稚園の預かり保育の充実」が 42.3%、「待機児童園（0～2歳児対象）の建設」が 34.1%、「幼稚園の認定こども園化の推進」が 22.2%などとなっている。

- ・（問 37）掛川市における子育て環境や支援の満足度

掛川市における子育て環境や支援の満足度は、「普通」が最も多く 45.7%、「やや満足度が低い」が 21.4%、「満足度が低い」が 18.7%で、“不満足派”は 40.1%となっている。「やや満足度が高い」が 9.3%、「満足度が高い」が 3.0%で、“満足派”は 12.3%となっている。

2 小学生調査

①地域について

- ・（問 1）居住地区

居住地区は、「第一小学区・中央小学区」が最も多く 18.1%、以下「北中学区」が 17.8%、「桜が丘中学区・原野谷中学区」が 17.1%、「大須賀中学区」が 12.1%などとなっている。

②宛名のお子さんご家族について

- ・（問 7）主な子育て（教育）者

主な子育て者は、「父母ともに」が 54.2%、「主に母親」が 43.0%で、“母親”が主な子育て者との回答が 97.2%に達している。「主に父親」は 1.3%で、“父親”が主

な子育て者との回答は55.5%にとどまっている。

③子どもの育ちをめぐる環境について

- ・(問10) 子育てを頼める親族や知人

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が51.4%と5割を超えた。「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」も44.2%となった。一方、子育てを頼める親族や知人が「いずれもない」が6.4%となっており、子育てに孤立した状況にある人もいる。

- ・(問11) 子育てを気軽に相談できる相談先

相談できる人が「いる(ある)」が83.0%、「いない(ない)」が5.6%で、ほとんどの人が相談先を確保しているが、相談先のない人もいる。

- ・(問11-1) 相談先

具体的な相談先をみると、「友人や知人」が81.9%と最も多く、「祖父母等の親族」も80.0%で、8割を超える。以下、「学校の先生」が34.7%、「近所の人」が15.9%、「小学校」が13.4%などとなっている。

④保護者の就労状況について

- ・(問12) 母親の就労状況

母親は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が24.8%でほぼ4人に1人となっている。「フルタイム」が29.4%、「パート・アルバイト」が40.5%で、「働いている母親」は69.9%であった。

- ・(問12) 父親の就労状況

父親は、「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が71.8%と7割を超えた。「パート・アルバイト」が3件、「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が2件であった。

- ・(問12) 就労時間

母親の平均就労日数は4.68日/週、平均労働時間は6.39時間/日、父親の平均就労日数は5.30日/週、平均労働時間は9.55時間/日となっており、就学前調査とほぼ同様の数値となった。

- ・(問13) フルタイムへの転換希望

パート・アルバイトで働く母親のフルタイムへの転換希望は30.6%で、約3割の人がフルタイムで働きたいと意思表示している。一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は7.2%で、実質的な転換希望は1割弱となっている。

- ・(問14) 未就労者の就労希望

働いていない母親の就労希望は、60.3%となっている。「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」は27.2%で、緊急性の高い就労ニーズは働いていない母親の3割弱と就学前調査よりも高くなっている。

⑤地域の子育て支援事業の利用状況について

- ・(問15・16) 児童館・児童交流館の利用状況・利用希望

児童館・児童交流館の利用状況は、「利用していない」が最も多く87.5%、「利用し

ている」が11.1%となっている。利用希望率は19.8%となっている。

・(問17) 各事業の認知度

各事業の認知度は、①家庭教育学級が75.3%、家庭児童相談が57.3%、掛川市教育センターが26.4%となっている。

⑥放課後の過ごし方について

・(問18・19) 希望する放課後の過ごし方(放課後児童クラブに着目)

希望する放課後の過ごし方のうち、放課後児童クラブ(学童保育)については、低学年(1~3年)での希望が23.4%、高学年(4~6年)での希望が14.2%となっている。高学年までの利用希望者は、6年生までの利用を46.1%の人が希望している。

・(問21・22) 平日以外の放課後児童クラブの利用希望

平日の放課後児童クラブ利用希望者のうち、土曜日の利用希望は20.6%、日曜日の利用希望は14.6%、長期休暇時の利用希望は95.5%で、長期休暇時の利用希望が高くなっている。

⑦育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

・(問23) 母親の育児休業の取得状況

母親の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中である)」が24.3%、「取得していない」が16.2%となっている。なお、「働いていなかった」が57.6%となっている。

・(問23) 母親が育児休業を取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が45.2%、「職場に育児休業の制度がなかった」が19.6%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が10.7%などとなっている。

・(問23) 父親の育児休業の取得状況

父親の育児休業の取得状況は、「取得した(取得中である)」が0.7%となっている。

⑧子育てに関する意識などについて

・(問25) 悩んでいることや不安に思っていること

母親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもの教育に関すること」が41.3%、「友達付き合い(いじめなど)に関すること」が34.3%、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が30.5%などの順になっている。

父親が悩んでいることや不安に思っていることは、「子どもとの時間を十分にとれないこと」が30.4%、「子どもの教育に関すること」が20.2%、「特になし」が17.9%などとなっている。

・(問26) 掛川市における子育て環境や支援の満足度

掛川市における子育て環境や支援の満足度は、「普通」が最も多く51.2%、「やや満足度が低い」が20.2%、「満足度が低い」が19.3%で、“不満足派”は39.5%となっている。「やや満足度が高い」が6.2%、「満足度が高い」が1.2%で、“満足派”は7.4%となっている。